

ごあいさつ



皆さまには、平素より結城信用金庫に対し温かいご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も『ユーシン』の日頃の経営姿勢や業績の推移などの経営内容をお知らせし、なお一層のご愛顧を賜りたく「ユーシンレポート 2017」を作成いたしました。

ご高覧をいただき、当金庫に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

さて、平成28年度は、アベノミクスの推進により、緩やかな回復基調が続いていると言われているものの、地方経済は少子高齢化や人口減少などの構造的問題もあいまって景気回復を実感するには至っていない状況が続いています。

さらに、日本銀行が昨年2月から導入した「マイナス金利」政策に続き、昨年9月には長期金利の指標となる10年物国債金利を0%程度に誘導するという「長短金利操作付き量的・質的金融緩和策」を導入し、強力な金融緩和策を継続することになりました。

こうした日本銀行の金融政策は、金庫経営にとりまして資金運用収益の減少が避けられず減益要因になりますが、こうした政策の効果により、日本経済が真に活性化し、実感として地方や中小企業に景気回復の動きが波及することを期待したいと思います。

こうした状況のなか、本年5月に創立115周年を迎えた当金庫は、茨城県の県西地区を主な営業基盤とする唯一の地域金融機関として、地域の皆さまにお客さま本位の良質な金融サービスを提供するとともに、取引先企業の販路拡大などの本業支援のほか、地域貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

当金庫が長年^{ながねんつちか}培ってきたきめ細かな営業活動により、お客さまとのFace to Faceによる対話を重視した信頼関係を築き、^{こぐちさきすうしゅぎ}小口先数主義という当金庫の原点に帰った施策に取り組むことで、お客さまの支援とともに当金庫の収益基盤の安定を目指してまいります。

当金庫は、地域の皆さまに感謝し、これからも地域の皆さまから真に愛され信頼される信用金庫として歩み続けてまいります。

今後とも、変わらぬ、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

理事長 森 光郎